

学校教育目標	人とのかかわりを大切に、共に生き、互いに高め合い、心豊かに生きようとする子どもを育てます。		
	(知) 学ぶ意欲をもち、ねばり強くやり遂げようとする子どもを育てます。		
	(徳) 自己肯定感や自尊感情をもち、相手を思いやり尊重するとともに、心豊かに自分らしく生きようとする子どもを育てます。		
	(体) 生命を大切に、心身ともに健やかな体をつくろうとする子どもを育てます。		
	(公) わたしたちの「まち」を愛し、主体的に社会とかかわりチャレンジする子どもを育てます。		
(開) さまざまな人とのコミュニケーションを通して、共に生きようとする子どもを育てます。			

学校概要	創立 25 周年	学校長 境 伸泰	副校長 熊谷 潤平	2 学期制	一般学級: 14	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 469 人	主な関係校: 領家中学校 鳥が丘小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自主・自立の力> <自己有用感・豊かな心情> <社会・人との関わり ・コミュニケーション・個性の伸長>	領家中学校 鳥が丘小学校 西が岡小学校	◇健康な生活習慣と主体的な学習習慣を身に付け、自分の力を伸ばそうと努力する子ども【知・体】 ◇人とのかかわりや体験を通して自他の良さに気づき、豊かな心情を育む子ども【徳】 ◇地域とかかわりを大切に、未来をきり拓く子ども【公・開】 ----- ・領家中学校ブロック内の小中学校との協働授業研究を通して、地域の課題の共有、資質能力を育成する授業研究の推進、合同研究協議会の開催等、学力向上に取り組む。 ・地域やブロックの幼稚園、保育園、高等学校とも連携を図り、児童生徒と部活動交流、職場体験や学校行事(作品展、運動会、早朝練習の中学生コーチ等)での交流を一層充実させるなど、連携を推進していく。

中期取組目標	・進んで人とのかかわりを合い大切に(自立)、共に高め合うこと(協働)に視点を当てた教育活動を進め、「自分大好き」「みんな大好き」「ひとみかがやく西が岡の子」(学校教育目標スローガン)を育てます(創造)。 ・自己肯定感や主体的な態度、思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する授業に向けて、授業力向上に取り組めます。 ・全教職員が学校運営に主体的に参加し、「子どもの未来のために」を合い言葉に、「活力」ある学校づくりを推進します。 ・学校は家庭、地域、関係機関と連携を深め、学校運営協議会を活かした地域社会に開かれた学校づくりを進めます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 重点研究推進委員会	①領家中学校ブロック全体で、地域の子どもの課題を共有し、主体性や自己肯定感を育むための授業改善に努め、思考力・判断力・表現力等の資質能力を育成する授業実践を推進する。②体験的な活動や問題解決的な学習を積極的に取り入れ、自分の考えや思いを豊かに表現できる子どもを育てる。
豊かな心 担当 道徳部	①だれもが、安心して、豊かにを基盤にした学校づくりを推進し、特設音楽クラブや音楽朝会、生き物体験活動等を充実して、豊かな感性を育む教育の充実を図る。②縦割り異学年交流活動を進めることで、友だちや自分のよさに気づき、個性の伸長や自己肯定感を共に高め合う子どもを育てる。
健やかな体 担当 体育部	①集会や中休みを活用して体力づくりにつながる取組(いきいきキッズ、縄跳び大会等)を行い、運動の思考力やコミュニケーション力の育成、達成感や成就感を味わい自尊感情を高める。②子ども主体の運動会を計画し、生涯にわたり体力向上に取り組む心情を養う。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①子どもの実態や保護者の願いを踏まえて個別の教育支援計画を立て、継続的な支援ができるように校内支援体制を整備し、それぞれの子どものニーズに合った丁寧な支援を行う。②通級指導教室や関係機関と連携して、様々な相談、支援が行えるようにする。
地域連携・ 学校運営協議会 担当 教務	①教育活動への保護者、地域人材等の教育力の活用、地域行事や地域奉仕活動への児童、教職員の参加などの取組を計画的に実施し、開かれた学校づくりを進める。②学校HPや学校説明会を充実させ、学校の様子や取組を地域や保護者と共有すると共に、学校地域コーディネーターの行う土曜事業を推進する。
安全管理 担当 安全委員会	①子どもが安心して安全に学校生活を送ることができるように、設備の点検や安全な教育環境の整備に努める。②登下校の交通安全及び不審者侵入防止等の安全対策、災害時の避難訓練等の対応を全教職員が計画的・協働的に図る。
担当	
担当	
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①月1回の定期的いじめ防止委員会を柱に緊急いじめ防止委員会を併設し、該当児童から丁寧に聞き取りを行い再発防止を職員全体で考え対応に努める。②年1回の全職員を対象とした研修と年1回の児童アンケートにより、日々の児童の生活全体に注意の目を配り、未然防止に努めるとともにいじめを 目撃されたら体制づくりを行う
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務・メンターチーム	①学年研や重点研究等を通し、教科指導力や学級経営力、児童理解力を高め、教職員の人材の育成と指導力の向上を図る。②学年やブロック内での交換授業等、子どもの実態に応じた指導の充実を図る。③事前に資料を配付するなどの工夫で会議の効率化を図り、グループウェアの活用で情報の共有化を一層進め働き方改革につなげる。